

教育委員会定例会議事録

令和元年6月18日 午後2時00分 開議

出席委員

教 育 長	高 本 訓 久
委 員	林 正 美
委 員	菅 沼 由 貴 子
委 員	渡 辺 時 行
委 員	戸 苺 恵 理 子

説明のための出席者

教育部長	原 田 潔
教育部次長兼生涯学習課長	前 田 清 彦
教育部次長兼学校教育課長	河 原 克 明
教育部次長兼中央図書館長	近 藤 慎 一
庶務課長	酒 井 保 吏
学校教育課主幹	小 林 和 弘
生涯学習課長	林 弘 之
スポーツ課長	戸 苺 憲 司
学校給食課長	牧 平 行 史
中央図書館主幹	尾 崎 浩 司

教育長が指定した事務局職員

主 事	鳥 居 政 治
主 事	柴 田 訓 代

議事日程

- 第1 議事録署名委員の指名
- 第2 第21号議案 教職員の任用について（非公開）
- 第3 その他報告 改正民法成立に伴う、今後の新成人祝賀会のあり方について
- 第4 その他報告 教職員の人事に係る内申について（非公開）

「高本教育長」 定刻になりましたので、ただ今から教育委員会を開会し、直ちに会議を開きます。始めに、日程第1「議事録署名委員の指名」を行います。本日の議事録署名委員は、教育長において、林・戸苺両委員を指名いたします。よろしくお願

します。

「高本教育長」 続いて、日程第2、第21号議案「教職員の任用について」を議題といたします。なお、本案は教職員の人事に関する案件ですので、議事は非公開とし、会議内容の議事を別に記録するということによろしいでしょうか。

(異議なしの声)

「高本教育長」 異議なしと認め、本案は非公開で行います。それでは事務局から説明をお願いします。

「河原教育部次長」 第21号議案「教職員の任用について」を資料に基づき説明。

(以下、議事内容は職員の人事に関わるため非開示)

「高本教育長」 続いて、日程第3、その他報告「改正民法成立に伴う、今後の新成人祝賀会のあり方について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

「林生涯学習課長」 その他報告「改正民法成立に伴う、今後の新成人祝賀会のあり方について」を資料に基づき説明。

「高本教育長」 ありがとうございます。近隣市の状況や新成人へのアンケート結果、それから社会教育委員のご意見等について説明をいただきました。只今の提案について、何かご質問がありますでしょうか。

「戸苅委員」 社会教育委員の中で、19歳での開催が良いと言うお一人の方は、どのようなご意見だったのかをお聞かせいただけますか。

「林生涯学習課長」 18歳で成人年齢ということは、高校3年生ですので、学校との兼ね合いという事も言って見えました。また、現行通り1月の開催とすると、今は20歳で行っていますが、1月から3月生まれの方は19歳で新成人祝賀会を迎えていますので、皆が成人となっている19歳で開催するのが良いのではないかというご意見でした。その場合は、新成人祝賀会ではなく、例えば「新成人の集い」などの名称になると思います。

「高本教育長」 なるほど、そういう考え方もあるんですね。

「林委員」 実は私も19歳での開催に非常に魅力を感じています。先程の社会教育委員の方と似ている部分がありますが、高校を卒業して約半数の方は大学へ行ったり専門学校へ行ったりしますが、半数は働くようになります。社会常識でいえば、自分で稼ぐということは、もう立派な大人と言えると思うのです。そう考えると大学生は、むしろ大人とは言えないですね。ですから、理想として19歳と23歳で選択制にするのが一番良いのかなと思うのですが、実際には、それは難しいでしょうから、その中間で20歳となるのかとは思いますが、19歳というのも非常に魅力を感じています。

「渡辺委員」 私の意見も似たところがあって、18歳ですと、高校生は大学受験が控えています。そもそも1月でなくてはいけないのかという疑問もあって、例えば1

9歳になった4月、5月の新入社員あるいは新しく大学生活が始まるところでお祝いをするのも良いのではないかと思います。近隣の市町村に合わせるのも一つの手だと思いますが、これから市長に話を持っていく時に、アンケートの結果がこうです、近隣の市町村がこうですという言う進め方では良くないと思います。それぞれのメリット、デメリットをしっかりと示したうえで、市長にお伺いするべきだと思います。

「高本教育長」 本日、最終的には教育委員会の意見を一つにまとめなければなりません。市長へ話を持っていくのに、教育委員会で意見が分かれたというわけにはいきませんので、まず皆さんのお考えや思いなどご意見としていろいろ出していただく中で絞っていったらと思っています。今、お二人からは19歳も良いのではないかというお話でした。また、開催時期については1月に限定する必要はないというご意見もありました。

「林委員」 全国的に成人の日に絡めた3連休で実施する所が多いという事で、豊川市も従前からその3連休で行っているのです、その時期にこだわらなくても良いかもしれませんが、暑い時期に晴れ着を着るのは、汗をかいてしまうので辛いかもしれませんね。そういうデメリットもあります。

「高本教育長」 成人の年齢が18歳に下がるだけの事ですから、成人の日は祝日としてはきっと残るのでしょうね。祝日が無ければ、4月や5月も有りかと思いますが、確かに7月、8月に晴れ着を着るのは、少々酷でしょうね。

「菅沼委員」 成人年齢が18歳に引き下げられて、成人になるという意味を改めて考えてもらいたいのであれば18歳にした方が良いと思います。先ほど、晴れ着の話が出ましたが、皆で集まって成人になるという事を自分達で考える時間とするのであれば、高校の制服でも良いと思います。ただ、重なる年代が出てしまうので難しいですね。今のままであれば、その辺りの事を考えずに済むと思いますが。

「高本教育長」 生涯学習課長、何かありますか。

「林生涯学習課長」 事務局が考えるメリット、デメリットを少しご説明させていただきます。仮に18歳で実施した場合、先ほど話題にも出ましたが、直後に受検を控えている方がかなり大勢いますので、出席率は下がると考えています。それから、晴れ着を着ると、その費用も結構掛かると思うのですが、受験費用、入学費用に加えて晴れ着の費用となると、家庭の経済的負担が大きくなります。そして、事務局が考える最大のデメリットは、18歳にした場合でも、19歳、20歳をやらないというわけにはいかないのです、同じ日に時間を変えて実施するか、日を変えて3世代やるかを考えていく必要があります。そうすると主催者側も大変ですが、恐らく晴れ着のレンタルや美容院の業界からもブーイングが出るだろうと予想されます。それだけの着物が用意できない、ヘアセットや着付けが物理的に3倍になりますので、それはかなり難しいだろうと思っています。事務局としては、18歳でやるメリットがあまり見出せないところがありまして、逆に20歳でやった場合は、高校を卒業して2年ぶりに会う友人や、中学を卒業して5年ぶりに友達に会えるということになります。アンケートによると、友達、旧友と再会できるのが非常に大きな目的だと言う新成人が多

いので、旧友と再会するという意味では、最低でも2年ぐらい経って、久しぶりだねと声を掛け合うのが、新成人祝賀会のひとつの醍醐味ではないかと思っております。また、家庭の経済的な負担も考えると、大学受験が終わって2年ぐらい経っていた方が、それなりに負担は少ないのではないかと思っております。事務局からは以上です。

「高本教育長」 受験を控えているという話が良く出てきますが、式典は半日ですので、受験そのものはそれ程大きなデメリットではないような気がしますが、3世代を同時にやらなければならない年があるという事を考えると、20歳の人だけでも、あれだけ生涯学習課を中心に、ものすごい時間と人手を掛けて準備して、トラブルのない様に気を遣っているものを、3世代という事は、日を変えてあのイベントを3日間やれと言われても、自分だったら参ってしまう気がするし、1日でやれと言われても、それも辛いだらうと思います。

「林委員」 18歳ですと、2月、3月生まれの子はまだ17歳ですよ。法律で18歳に引き下げられることが決まったのですから、やはり皆が18歳になってからの方が良いと思います。私としては19歳か20歳と考えています。

「菅沼委員」 20歳の開催とする場合は、「二十歳の集い」や「二十歳を祝う会」、または「成人の集い」などのように名称を変えれば問題ないと思いますが、選挙権を得られるということもありますので、何かきちんと「あなた達は成人になったのですよ」とけじめとして式典を行うのであれば、やはり引き下げた方が良いように感じます。ただ単に市として成人を祝う会をやるだけのことなら、従前のおりで良いのではないのでしょうか。そこのところをどう考えるかだと思います。

「高本教育長」 19歳でやるにしても20歳でやるにしても、間違いなく名称は変えてなければなりませんね。

「戸苺委員」 一つよろしいですか。アンケートに答えている成人の方で、18歳が良いと言った人の意見としては何かあるのでしょうか。

「林生涯学習課長」 コメントはありません。どれが良いですかという聞き取りをしているだけです。個別の意見は聞いておりません。

「高本教育長」 先ほど、菅沼委員が晴れ着にこだわらなくてもと言われましたが、私個人としては、高校の制服で新成人を祝う会はやめて欲しいと思います。せめて私服なら良いと思います。でも祖父母からすると、かわいい孫にやはり晴れ着は外せないと思います。その感覚は、相当の年数が経たないと変わらない気がしますので、年齢は別として、晴れ着を抜きにするのは難しいと思います。

「菅沼委員」 晴れ着を着たいと言うのも、もちろん分かりますし、皆で同窓会のように20歳で会うというのも意味のあることだと思います。ただ、18歳に引き下げられた意味を皆に分かってもらうための会というのであれば、晴れ着でなくても良いのではないかという意味です。

「戸苺委員」 難しいですね。

「高本教育長」 例えば、近隣の豊田市、豊明市、岡崎市、刈谷市、豊橋市にしても、20歳で実施する予定とのことですが、やはり1月の開催ですか。

「林生涯学習課長」 はい1月です。

「高本教育長」 祝日に合わせてという事でしょうね。

「前田教育部次長」 私も過去に成人式の担当しており、いろいろアンケート等を取ってきましたので、参考までにお話しさせていただきますと、実は合併以来、一括開催が良いのか、例えば中学校単位ではどうかということが議論になっていまして、毎年アンケートで意見をいただいていた。アンケートの結果は、一括の方が良いという意見が毎年多く、新市として一体化というわけではないですが一括で行うという方法でずっと続いております。また、日曜日開催についても、祝日が「ハッピーマンデー」という形になった時に、自動車関係の工場が祝日でも操業していて参加する人が困るという事情がありまして、東三河では、まず田原市が真っ先に日曜日開催に変更しました。その後、豊川市も遅ればせながら日曜日に変えたという経緯があります。これまでのアンケート結果等を総合的に判断しますと、先程、林課長が申しあげましたように、20歳という時期がちょうど中学校、高校を卒業して数年経って、タイミング的に良いのだろーと思えます。アンケートの中には、高校の友達にも会えるからという意見も見られました。これまでのアンケートの結果から見れば、間違いなく20歳で実施するというのが一番ニーズ高いのではないかという感触を持っています。ただし、菅沼委員も言われたように、18歳に年齢が下がった意義をどうやって意識させるかというのは、別問題として考えていくべきだと思います。

「戸荻委員」 市としては大勢の方に出席して欲しいですね。

「高本教育長」 多くの方が参加しやすい時期にしてあげるべきだという事ですね。

「林委員」 市全体の式典後、それぞれの地域で集まっている所もあると思うのですが、把握されていますか。

「林生涯学習課長」 豊川市の場合は、中学校や小学校区単位でやっているところはありませぬ。ごく一部の町内会で、新成人祝賀会が始まる前に集まってお祝いをして、その足で総合体育館へ向かうパターンがありますが、それほど多くはないです。

「戸荻委員」 午後からや夜に中学校単位で同窓会をやっていますよね。

「渡辺委員」 それは飲み会というか、同窓会ですね。

「戸荻委員」 19歳の子もいるので、お酒は出ないと聞きました。

「林生涯学習課長」 旧4町は中学校区単位でやっています。

「前田教育部次長」 この音羽のホールでも毎年やっていると思います。

「高本教育長」 音羽中の卒業生たちが集まるということですね。

「前田教育部次長」 発起人がいて、自分達で施設を予約していると思います。

「林委員」 平尾でもやっていたね。

「河原教育部次長」 中学校の同窓会という形で、そこに当時の教員が呼ばれることもあるように聞いております。

「林委員」 そう言う事を考えると、やはり20歳でしょうか。

「高本教育長」 そうかもしれないですね。

「戸荻委員」 子ども達を中心に考えるとしたら、20歳が良いタイミングかもしれ

ないですね。前田次長が言われたように、子ども達のことを考えて開催するのか、市としての建前などを踏まえて開催するのかわ変わってくるように思います。多くの子に参加して欲しい事を考えると、やはり20歳だと思います。

「高本教育長」 ありがとうございます。最後に戸荻委員におっしゃっていただきましたが、開催する市の側と言うよりも、参加してもらった成人になった子ども達のことを考えて、集まりやすい年齢、集まりやすい時期、それから同窓会的な意味合い、その後の恩師等を囲んでの会なども考えていくと、現行の20歳が子ども達にとっては一番相応しい時期なのではないかというのが多くのご意見でございました。アンケートや本日のご意見等も参考にはさせていただきますが、冒頭、渡辺委員が言われたように、メリット・デメリットをよく判断した上で、市長へ申し上げていただきたいところです。教育委員会としては、19歳と20歳の両案でのご意見が多かったものの、その中で検討した結果、先ほど申し上げたようなところで、現行の20歳をもって成人のお祝いをしてあげるといった意見に固まってきたと思います。最後に何かご意見などありますでしょうか。

「戸荻委員」 菅沼委員が言われたように、18歳で成人になったということを市としても何か動きを出さなければいけないのではないかと思います。20歳まで何もしていないのではなくて、18歳の成人になったタイミングで何かアクションは起こさないといけないと思います。

「尾崎中央図書館主幹」 最近は、選挙管理委員会が18歳になると選挙人名簿の登録ハガキを送っているようです。うちの子にも届きました。

「高本教育長」 選挙管理委員会は投票率を上げたいという事もあるので、選挙権が得られましたという案内をしているようです。選挙以外で何か18歳で成人になったという事を宣伝できるものがありますか。

「林生涯学習課長」 例えば、青少年健全育成の関係で、家庭の日のPRなどを広報でやっているのですが、それに似たような形で2022年以降、新成人は18歳からですという様な周知をするなど検討してみます。

「高本教育長」 冒頭、林委員が言われたように、18歳という年齢になったからというのではなく、働いて自分で生活ができるようになった時点で一人前の大人として認められていく、そのような意識を持たせてあげるといったのも大事な事かもしれません。お祝いとしては、20歳になった時に開催するという流れでよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

「高本教育長」 ありがとうございます。教育委員の皆さんそれぞれにお考えはありましたが、生涯学習課長の方で本日の意見もまとめていただいて、市長へお話いただきたいと思います。大事な議題であったと思いますが、多くのご意見等をいただきまして本当にありがとうございました。それでは、日程第3、その他報告「改正民法成立に伴う、今後の新成人祝賀会のあり方について」は、以上で終了とさせていただきます。

「高本教育長」　続きますして、日程第4、その他報告「教職員の人事に係る内申について」を議題といたします。なお、本案は教職員の人事に関する案件ですので、議事は非公開とし、会議内容の議事を別に記録するというところでよろしいでしょうか。

（異議なしの声）

「高本教育長」　異議なしと認め、本案は非公開で行います。それでは事務局から説明をお願いします。

「原田教育部次長」　その他報告「教職員の人事に係る内申について」を資料に基づき説明。

（以下、議事内容は職員の仕事に関わるため非開示）

「高本教育長」　本日の会議に付議されました案件は以上でございますので、これにて本委員会は閉会とさせていただきます。

（午後3時01分　閉会）